

各 位

会 社 名 株式会社テリロジー
 代 表 者 名 代表取締役社長 津吹 憲男
 (JASDAQ・コード 3356)
 問 合 せ 先
 役職・氏名 取締役副社長 阿部 昭彦
 電 話 03-3237-3291

特別損失の計上及び平成 28 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は平成 28 年 3 月期において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。
 また、平成 27 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期の通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が保有する投資有価証券について、簿価に比べ実質価額が著しく下落しているものについて評価した結果、減損処理による投資有価証券評価損 16 百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 平成 28 年 3 月期通期業績予想値と実績値との差異について

(1) 平成28年 3 月期通期業績値 (平成27年 4 月 1 日～平成28年 3 月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	60	40	40	2.60
今回実績値 (B)	2,639	26	△0	△19	△1.25
増減額 (B-A)	△160	△33	△40	△59	
増 減 率 (%)	△5.7	△56.0	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	2,804	△212	△207	△211	△13.76

3. 差異の理由について

平成 28 年 3 月期通期業績につきましては、国内企業での IT 投資の抑制傾向が継続する中、積極的な営業活動に努めたものの、業績に貢献するまでには至らず、売上高は前回発表予想を下回る結果となりました。

損益面につきましては、売上高が期初計画値を下回って推移したことから、十分な利益を確保することが困難な状況により、営業利益、経常利益は前回予想を下回る結果となりました。

また、当期純利益は、上記理由に加え、投資有価証券の減損による特別損失 16 百万円を計上したことにより、前回予想を下回る結果となりました。

以 上